

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公表番号】特表 2004-508066 (P2004-508066A)

【公表日】平成 16 年 3 月 18 日 (2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報 2004-011

【出願番号】特願 2002-527274 (P2002-527274)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/48

A 6 1 P 7/02

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 P 7/02

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 5/00 Z N A B

A 6 1 K 37/547

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 3 月 17 日 (2003.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

． 一種の人体の突然変異型のヒト組織型プラスミノゲン活性剤を表現する細胞株であって、寄託番号が C C T C C C 2 0 0 0 0 6 である細胞株。

【請求項 2】

以下のステップを含む、突然変異型のヒト組織型プラスミノゲン活性剤 (T N K - T P A) を発現する細胞株を構築する方法、

( 1 ) ヒトの D、G 組の染色体の短腕で重要な生理機能のない相関遺伝子 D N A の配列、或いは該 D N A 配列と相同性のある D N A 配列を目的遺伝子のリーディング配列として、一般の方法で特異性のある遺伝子ベクターを構築する。

( 2 ) 一般的方法で目的遺伝子 T N K - T P A を上記のベクターに導入して、ベクター T N K - T P A の組み換え体を得る。

( 3 ) 上記のベクター T N K - T P A 組み換え体を利用し、T N K - T P A の目的遺伝子を宿主細胞の D、G 組染色体の核仁組織領域のかぎを握る遺伝子座に導入し、選別して細胞株を取得する。

【請求項 3】

ベクターが配列表 1 に表された D N A 配列であることを特徴とする請求項 2 に記載の突然変異型のヒト組織型プラスミノゲン活性剤の細胞株を構築する方法。

【請求項 4】

宿主細胞が H T 1 0 8 0 であることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の突然変異型のヒト組織型プラスミノゲン活性剤の細胞株を構築する方法。

【請求項 5】

突然変異型のヒト組織型プラスミノゲン活性剤を調剤する方法が請求項 2、3 又は 4 に記載の細胞株を工程細胞株として発現し、TNK - TPA タンパクを調剤することを特徴とする組織型プラスミノゲン活性剤を調剤する方法。

【請求項 6】

組み換えベクター TNK - TPA を含む細菌株の寄託番号が CCTCCM200032 であることを特徴とする細菌細胞株。